

# そらべあ便り

Solarbear Newsletter | Vol.38 

杉の木  
42,000本の  
CO<sub>2</sub>を  
減らしたよ!



[www.solarbear.jp](http://www.solarbear.jp)

© Shinzi Katoh

REPORT **そらべあチャリティーアイテムを限定販売  
1週間で多くのご寄付につながりました**

2月4日(月)～2月10日(日)の1週間、そらべあ基金は、京都のチャリティー専門ファッションブランドJAMMIN(ジャミン)とコラボレーションし、オリジナルデザインのチャリティーアイテムを販売しました。JAMMINでは、1週間ごとに1つのNPOと協力し、その活動をイメージしたデザインのTシャツやパーカー、エコバッグなどのファッションアイテムをECサイトで販売。1アイテム売上げごとに700円を当該NPOに寄付するという活動を行っています。

今回のそらべあ基金とのコラボデザインでは、ホッキョクグマの兄弟が暮らす氷と宇宙を描いたイラストで、ホッキョクグマも人間も、地球というひとつ

の星の上で同じように生きているというメッセージを表現しています。

また、キャンペーンに合わせて、そらべあ基金のミッションや活動について、JAMMINのウェブサイトでも詳しく紹介。さらに、Yahoo!とオルタナSのニュースサイトでもそらべあ基金が紹介され、多くの方に活動内容をお知らせすることができました。

キャンペーンは1週間で終了。たくさんのおみなさまにお買い上げいただいたおかげで、目標を上回る123,650円のご寄付につながりました。ご協力いただいたみなさま、SNSや口コミでシェアしていただいたみなさま、本当にありがとうございました。



そらべあチャリティーアイテムのイラスト (JAMMINデザイン)  
JAMMINウェブサイト▶ <https://jammin.co.jp>

チャリティーTシャツを着る事務局メンバー

そらべあ基金事務局からのお知らせ

「そらべあ便り」は今後メールマガジンにて配信します

これまで季刊でお送りしてきた会報紙「そらべあ便り」の発行を一旦お休みし、今後はメールマガジンにてコミュニケーションをより多くの皆様へ配信することに致しました。また、みなさまには、そらべあ基金の1年間の活動をまとめた事業報告書を年1回お届けしていく予定です。

環境ニュースや園でのエコアクションのヒントなど、お役に立てる情報をお届けして参りますので、引き続きそらべあ基金をどうぞよろしくお願い致します。



メルマガもお楽しみに!!

そらべあサポーターズクラブ

- プレミアムサポーター ソニー損害保険株式会社
- オフィシャルサポーター ソニー生命保険株式会社
- そらべあ基金サポーター 株式会社ソニー・ピクチャーズ エンタテインメント / 株式会社毎日新聞社 / ゼロワットパワー株式会社
- そらべあ基金応援団 株式会社東急ハンズ / 日本風力開発株式会社 / 株式会社ディノス・セシール / 株式会社シール堂印刷 / 株式会社NTTスマイルエナジー
- 個人ファミリーサポーター 32名 (2019年3月10日現在)

読み終わったら、捨てずに回収してください。



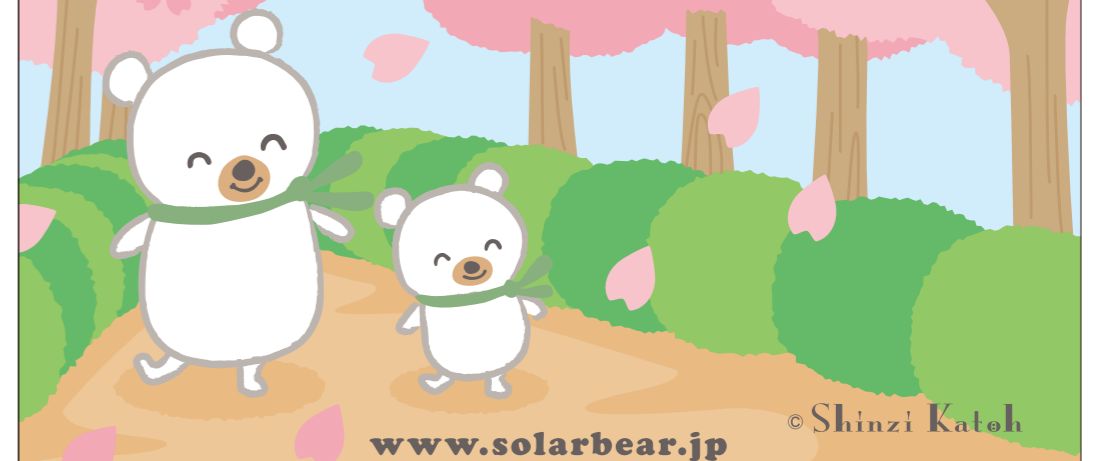
そらべあ便り vol.38

2019年3月発行  
編集: 青木一夫  
デザイン: 草薙聡子  
NPO法人 そらべあ基金  
〒105-0004  
東京都港区新橋2-5-6  
大村ビル8F  
TEL: 03-3504-8166  
FAX: 03-5157-3178  
<http://www.solarbear.jp>

# そらべあ便り

Solarbear Newsletter | Vol.38

杉の木  
42,000本の  
CO<sub>2</sub>を  
減らしたよ!



[www.solarbear.jp](http://www.solarbear.jp)

©Shinzi Katoh

REPORT **神奈川県「美里・柿の実こども園」で  
64基目のそらべあ発電所寄贈式典を実施**

平塚市の「美里・柿の実こども園」において、2月18日(月)、64基目の「そらべあ発電所」の完成寄贈記念式典が行われました。

当日は冬晴れの式典日和。約200名の園児と先生、協賛企業のソニー損害保険株式会社のみなさん、平塚市長、教育長、市議会議員、報道各社の方々にご出席いただきました。

最初に、そらべあ基金の青木一夫理事が「そらべあへの目は何が付いている?」と尋ねると「なみだ〜!」「どうして泣いているの?」「お母さんとはくれたから〜!」と、みんな元気いっぱいに答えてくれました。

続いて、そらべあ紙芝居朗読に聞き入る園児

たち。そして、最近北極の氷が解けていることを知り、なぜ地球が暖かくなってきたのかをクイズで答えたり、手回し発電体験をしたりして、エネルギーの大切さを学びました。

園児たちも「そらべあの大冒険」という創作劇を披露。いろいろな動物が繰り広げる冒険物語を元気いっぱい熱演。大きな拍手が送られました。最後に新藤輝園長から「そらとべあがとお母さんと会えるよう、みんなでできることから始めよう」という言葉をいただいて式典はお開きとなりました。

「美里・柿の実こども園」のみなさん、ソニー損害のみなさん、平塚市関係者のみなさん、ありがとうございました。

神奈川県平塚市美里・柿の実こども園



そらべあ兄弟と約200名の元気な園児たち



年長さん組による創作劇「そらべあの大冒険」は20分に及ぶ大熱演

ソニー損害 経営企画部 遠藤部長より同園 新藤理事長へ記念プレートの贈呈

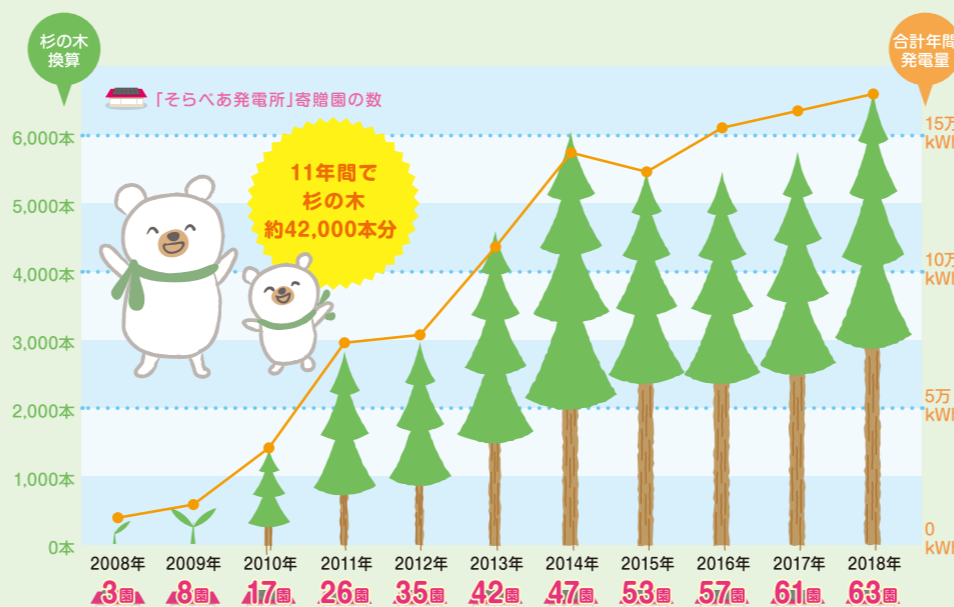
REPORT **11年間の「そらべあ発電所」によるCO<sub>2</sub>削減量は、  
杉の木換算で約42,000本分**

そらべあ基金が太陽光発電設備「そらべあ発電所」を寄贈した全国の幼稚園・保育園は、2008～2018年の11年間で63園となりました。これらの寄贈園からは、太陽光で発電した電力量を毎年ご報告いただき、そのデータをもとにCO<sub>2</sub>削減量を算出しています。

その結果、この11年間に発電した電力量の累計は

約109万キロワットとなりました。これをCO<sub>2</sub>削減量に換算すると約592トン。杉の木が1年間に吸収するCO<sub>2</sub>量に換算して約42,000本分となります。

私たちはこれからも「そらべあ発電所」を増やしていくことで、地球温暖化を抑える再生可能エネルギーの普及を推し進め、いつそのCO<sub>2</sub>削減を目指していきます。



REPORT **東京都港区立立こが小学校の小1クラスで  
環境授業を実施**

2月15日(金)、そらべあ基金は東京都港区立立こが小学校にて、環境授業&ワークショップを行いました。今回は1年生を対象ということで文字が少なくわかりやすいスライドを用意。地球温暖化や自然エネルギーについて理解してもらうための工夫を凝らしました。

1限目では、そらべあ兄弟の物語をアニメーションで紹介。北極の氷が小さくなってきたのは地球が暖かくなってきたから。温暖化が進むと私たちの生活はどうなっていくのかを考えます。そして、温暖化の原因はCO<sub>2</sub>が増えているからであり、CO<sub>2</sub>を減らすためにはエネルギーのムダ使いをやめると

ともに、太陽や風など自然の力でエネルギーを上手に作っていくことが大切であることを説明していきます。

2限目は手を動かす工作の時間。太陽光で明かりをつけるオリジナルソーラーLEDランプを作ります。一人ひとりがマスキングテープなどを使ってランプシェードをデザイン。個性豊かな独創的なランプがたくさん出来上がっていました。みんなのお部屋を自然エネルギーの光で照らしてもらえたらうれしいです。

立こが小学校の1年生のみなさん、先生方、保護者のみなさん、ご協力ありがとうございました。



1年生2クラスの合同授業には「そら」も登場



最後にみんな熱心に授業の感想を書いてくれました



マスキングテープを使ってLEDランプを作ります

